

2024年度 ネバーランド居宅介護支援事業所 事業報告書

1.居宅介護支援事業

①事業の概要

- (1) 事業の種類 指定居宅介護支援事業
- (2) 対象者 要支援1～要介護5の方
- (3) 実施地域 姫路市(家島町を除く)、福崎町、加西市、市川町
- (4) 休業日 土・日・祝祭日及び12/30～1/3以外
- (5) 営業時間 午前9時～午後6時

②職員配置

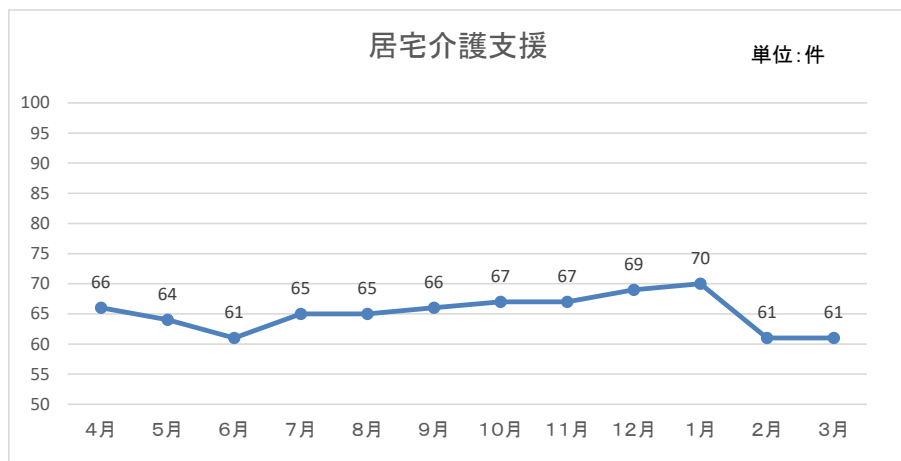
管理者兼主任介護支援専門員 1名 介護支援専門員 2名

③事業実績

(1) 給付管理者数

・居宅介護支援 ※月平均65件

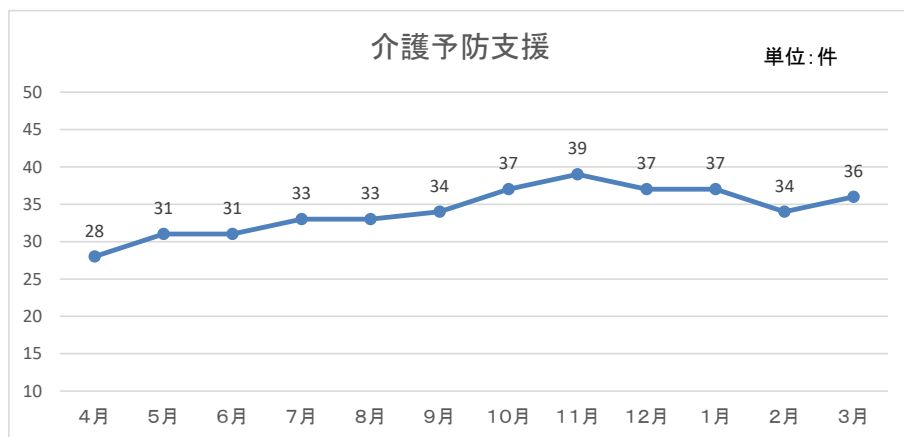
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	66	64	61	65	65	66	67	67	69	70	61	61	782



年間通して、大幅な増減は無かったが、新規利用者数に対して、終了者数が多かったため利用者増につながらなかった。

・介護予防支援 ※月平均34件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数(件)	28	31	31	33	33	34	37	39	37	37	34	36	410

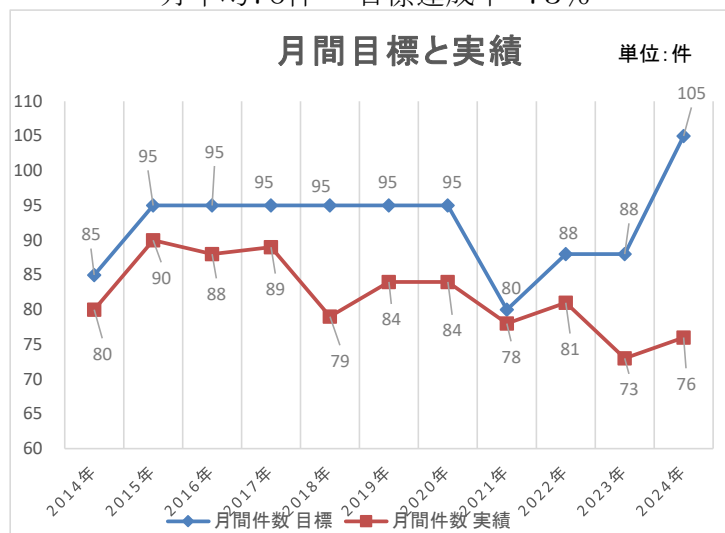


指定予防介護支援事業所として、今後も積極的に利用者を獲得していきたい。

(6) 年間目標達成率

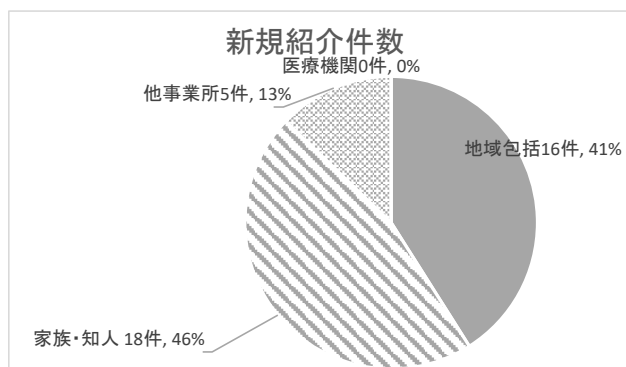
2024年 年間目標 1, 260件 実績 919件 ※介護予防支援3人で1件とする
月平均76件 目標達成率 73%

	月間件数	
年度	目標	実績
2014年	85	80
2015年	95	90
2016年	95	88
2017年	95	89
2018年	95	79
2019年	95	84
2020年	95	84
2021年	80	78
2022年	88	81
2023年	88	73
2024年	105	76



単位: 件
新規紹介件数

紹介元	件数
地域包括	16
家族・知人	18
他事業所	5
医療機関	0
合計	39



○事業計画に対する結果と考察

2024年度は、2023年度と比較して、月平均3件増加した。新規件数は39件で、内訳として地域包括からの新規依頼が16件、それ以上に家族・知人が18名と一番多かった。

後期高齢者の増加と要介護認定の判定が厳しく出る傾向にあり、要支援1・2の利用者が、増加傾向にあると思われる。その為、積極的に要支援の利用者を獲得していく必要がある。新規依頼の紹介元のうち地域包括の比率が依然として高く、引き続き定期的に地域包括に訪問して情報交換する等、良好な関係づくりに努めていきたい。また、地域貢献活動を通して、地域住民から気軽に相談して頂くことで新規の利用につなげたい。

また、今後、加西市エリアの利用者獲得に力を入れていきたい。加西市は、当法人から隣接しているエリアであるが、関係機関とほとんど交流、情報交換する機会がない。定期的に地域包括や病院へ出向き、まずは関係性を築き、新規利用者の獲得につなげていく。

2024年度は、病院からの新規依頼が無かった。病院への定期的な訪問をしていなかった事がひとつの理由として考えられるので、近隣病院の地域連携室への定期的な訪問や、「にんかふえネットワーク」を通じて、病院との連携を図っていきたい。

また、様々な地域貢献活動に取り組み、継続することで、近年少しずつ地域住民の理解と関係性の深まりを感じられるようになった。ひとつの例として「出張楽笑かふえ」を始める時に、自治会長の理解が得られず、「営業のためにするのか」と言われていたが、何度も説明し取り組み始めると、少しずつ理解を得られ、今では「次回いつ来てくれるんや?」と、期待されるようになった。また、コロナ後、地域住民が集まる機会が減っており、住民同士のつながりが希薄になっていたが、出張楽笑かふえを通じて、地域住民どうしの繋がりが深まったり、新たなコミュニティの場になる等の効果もみられている。

楽笑かふえ等で、地域住民から相談を受けて新規利用につながったケースもあったので、地域住民にとって、ネバーランドの職員が身近な存在になりつつあるので、今後も継続して関係強化に努めていく。

2024年度 地域貢献活動取り組み

1、介護者のつどい

①実施日:2024年6月22日(土)14:00~15:30

場 所:ネバーランド 参加者:4名

内 容:介護者交流会、「アンガーマネジメント」講師:作業療法士 箕田 将平

参加者のお一人が、「介護者の会」は無いのかと地域包括に相談され、当事業所の「介護者のつどい」を紹介され初めて参加された。「参加して、自分の思いを話し聴いてもらえて、気持ちがスッキリした」と仰っていた。

②実施日:2024年10月5日(土)14:00~15:30

場 所:ネバーランド 参加者7名

内 容:介護者交流会、「おいしく食べやすい食事の工夫」講師:管理栄養士 松岡 有美

施設で提供している食事を実際に見たり、刻み食やミキサー食の試食をして頂き、参加者からは「貴重な体験ができた」「おいしかった」と好評であった。また、食品サンプルを展示していたが大変興味深く見ておられた。

③実施日:2025年3月22日(土)10:00~11:30

場 所:船津公民館 参加者:1名

内 容:介護者交流会、「認知症予防に必要な運動について」講師:作業療法士 箕田 将平
認知症予防に関する内容で、関心を持って聞いて頂けた。

2、出張カフェ

①実施日:2024年5月27日(月)10:00~11:00

場 所:中野公民館 参加者:14名

内 容:漫才(介護保険に関する内容)、健康体操、カフェタイム

今回は、これから介護される側になる心構えについての話しが聞きたいとリクエストがあった。今後も地域住民の希望を聞きながらテーマを決めていきたい。漫才で笑いあり、終始和やかな雰囲気地域と交流することができた。

②実施日:2024年9月15日(日)10:00~11:00

場 所:中野公民館 参加者:15名

内 容:健康体操、手品、カフェタイム

中野地区の出張カフェは、毎年依頼があり継続している。参加者と顔見知りになり、距離感が近づいていることを実感しており、継続する事の大切さを感じている。また、他の地域へのお出張カフェも今後検討していきたい。

3、ぴっぴネバーランド

実施日:2024年9月7日(土)14:00~15:30

場 所:ネバーランド バリーホール 参加者数:81名

内 容:テーマ「出張楽笑かふえ取り組み紹介」「認知症カフェ講演会ご報告」

グループワーク

民生委員と民生推進委員、合計81名と多くの方に参加頂いた。グループワークでは、活発に意見交換や日頃の活動について情報共有されていた。各校区の民生委員が集まり、横の繋がりをつくり、連携を深める為にも有意義な会になっている。

4、楽笑かふえ(認知症カフェ)

毎月、第2水曜日に船津公民館で開催している。会場はBGMを流し、ゆったりとした雰囲気で過ごして頂く。認知症当事者や、ご家族を含めて、地域の方々が参加された。毎回、ミニ講話を行い、カフェタイムでは、ミニ講話の話題を交えながら対話を行う。

5、出張楽笑かふえ

船津町内各地区

宮脇、八幡、御立、大沢、三又、下垣内、中野、上野、仁色、溝岡 以上10ヶ所

「楽笑かふえ」の出張版として、船津町内10ヶ所の地区に出向いて行った。

地域の身近な集会所で開催する事により、船津公民館まで来られない方でも参加していただく事ができた。地域住民が集まる機会が減っており、「出張楽笑かふえ」は、つどいの場としても有意義な機会になっている。

6、落語会

実施日:2024年7月20日(土)14:00~16:00

場 所:船津公民館 参加者:150名

内 容:落語家 月亭秀都、桂小留をお招きし、地域住民を対象に落語会を開催した。

多くの方の参加があり、終始笑いの絶えない時間を過ごす事ができた。

来場者からは、「とても楽しかったので、来年もぜひやってほしい」という声があり、大変好評であった。

7、クリスマス会

実施日:2024年12月15日(日)

場 所:船津公民館 参加者:100名

内 容:賢明女子学院の生徒によるハンドベルの演奏や、職員による劇や、ゲームなど、クリスマス気分を感じて頂けるようなプログラムを実施した。

8、作品づくり

食品サンプルづくり、しめ縄づくり等、船津・豊富公民館で開催した。

毎年、定着して実施しており、親子での参加も多く、ワイワイ言いながら楽しいひと時を過ごす事ができた。

いろいろな作品づくりを通して、地域住民どうしの交流にもつながっている。

(トルコランプ、革細工、食品サンプル、お菓子、パン、スリングアート、しめ縄、クリスマスリース等)

9、コサージュ・メッセージカード作り

船津小学校、神南中学校、福崎西中学校の入学生・卒業生に、コサージュにメッセージ付きハガキを添えてお送りした。メッセージは、地域住民の方々にも書いて頂いた。

10、コグニケア

船津公民館で、毎週火曜日に開催している。

コグニケアは、認知症予防の為に、「頭と体の健康教室」「健康づくりセミナー」「健康づくりの見える化」をパッケージした教室である。

11、認知症カフェ講演会

実施日:2024年8月24日(土)13:30~15:30

場所:姫路市民会館 大ホール

内容:高知県立大学教授 矢吹知之氏の講演会と、矢吹知之氏と姫路市長清元秀泰氏の対談が行われた。多くの事業所関係者や一般市民の方々の参加があり、認知症カフェについて学ぶ機会になった。